

校訓	真善美	平成29年度学校だより	発行日	平成29年6月6日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 —豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる—	「荒中だより」 第9号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

トライやる・ウィーク、林間学舎が終わりました

2年生は、5月29日（月）～6月2日（金）を中心に、87事業所に分かれて『トライやる・ウィーク』を行いました。この期間に、2年生の職員やトライやる推進委員の方々などが、時間の許す限り真剣に取り組んでいる生徒の様子を見て回りました。多くの生徒が爽やかにいきいきとした表情で頑張っていました。

2年生の皆さんは、この経験を通して、**あいさつや身だしなみの大切さ、仕事に対する姿勢や人とのかわり方など**を自分なりに感じ学んだことでしょう。

その中でもあいさつの大切さは、身をもって感じたことでしょう。いつも言われるように、あいさつは社会生活をする上で最も大切なことです。



パナソニックの創始者の松下幸之助氏は、「経営がうまくいっている企業、伸びる企業は、訪問すればすぐわかる」とおっしゃっています。それは、次の3つのことが徹底してできている企業だそうです。1つ目は、「**いらっしゃいませ、おはようございますというあいさつが返ってくる企業**」、2つ目は、「**事務所や工場がきれいに整理整頓されている企業**」、3つ目は、「**トイレの掃除が行き届いている企業**」。

つまり、全社員があいさつ、整理整頓、掃除を徹底してできる企業が伸びる企業だとおっしゃっています。これらの3つのことを徹底することは、簡単そうでなかなか難しいことです。このような**簡単で当たり前のことを徹底して実行し続けることが大事**なのです。松下さんがおっしゃるこの教えは、そのまま私たちの学校生活に置き換えることもできます。**きちんとしたあいさつをし、身边を美しく整える。そのような一人ひとりの心がけが居心地の良い学級を作り、より良い学校へと変えていく**のです。このような当たり前のことがきちんとできる人でありたいですね。

1年生は、5月30日（火）～6月1日（木）、鉢伏高原へ林間学舎に行ってきました。3日間素晴らしい天候に恵まれ、魚つかみ、キャンプファイヤー、オリエンテーリング、もちつき、大縄・大声大会の**全ての行事を**

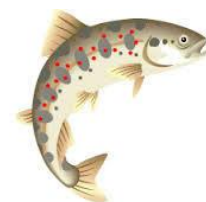


予定通り行うことができました。出発式や1日目の夕食時には、「時間が守れていない」「話しが聞けていない」などの注意を受けました。これらの課題は、リーダーを中心に声を掛け合い、日を追うごとに修正されました。そして3日目には全てが余裕を持って進められるようになりました。2日目は、自分たちでお米を炊きお弁当をつめた後、大桂から鉢伏山頂上を目指すオリエンテーリングに出発しました。全班が時間内にゴールできましたが、体調が悪い人への配慮などの課題が見つかった



班もありました。しかし、全般を通しては、**1年生みんなのチームワークと行動力が充分に発揮**され、学年スローガンのとおりに**たくさんの笑顔が花咲いた林間学舎**でした。

さらに、二宮先生が閉舎式でおっしゃっていたような質の高い集団を目指すには、「聴く」姿勢が大切です。「きく」という漢字は色々あります。耳に聞こえてくる「聞く」。相手に尋ねることを含めた「訊く」。そして**耳と目と心で十分に「聴く」。**「聴く」は、**内容を自分でしっかりと理解して応えていくことまで含みます。**この「聴く」姿勢を大事にしながら、林間学舎で培った力を今後の学校生活の様々な場面で発揮し、さらに質の高い1年生に成長してくれることを期待しています。



きらめけ!!荒中生!!

剣道部 第37回伊丹市体育協会長杯

（5/21 緑ヶ丘体育館）

中学生女子団体 3位



自信と誇りを持てる学校を創ろう!!